

# 育成かながわ



## ◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさご

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426

E-mail ijkanagawa\_k@yahoo.co.jp

URL <https://ikusei-kanagawa.jp/>

## ～地域の活性化を目指して～ 初のブロック会議開催される

県手をつなぐ育成会では、今年度から県域の支部をブロックごとに分けて、そこでの活動を推進していくこととなりました。地域に密着した具体的な活動を作っていくことで育成会の活動を広く周知する機会を多く持つと共に、支部のより一層の活性化を目指していきたいと考えています（令和2年度総会資料より抜粋）。そして、初めてとなるブロック会議が9月4日（金）に各地区で開催されました。それぞれ地域の課題を出し合いながら、今後の活動に弾みをつけられた充実した会議となりました。以下、各ブロックより簡単に報告していただきました。

### 【湘南東部】 <藤沢・寒川・茅ヶ崎>

藤沢市地域活動センター活動室にて、7名の参加で行いました。テーマは居宅支援ということでしたが、新型コロナウイルス感染対策下での各地域での日中活動状況や、学齢での通学や放課後デイサービスの様子などの情報交換、近況報告が主になりました。3地域では、基本日中活動は継続されていたようで、一番自粛が強まっていた3、4、5月は各事業所によって、公共交通機関での通所が自粛、禁止になったところもあったようですが、今は通常活動に戻っているとのことでした。

現在藤沢は学齢期の会員がいないため、特別支援学級や養護学校は一律休校かと思っておりましたが、地域によっては登校時間をずらして通学希望者が登校出来る処置を取っていたり、各市町で配慮が見られたようです。当初のテーマである居宅支援については、3地域とも毎日の送迎サービスの不足や、グループホーム、特に重度障がいの人が入れるホームの新設計画が進んでいないこと等共通の課題が見えたので、これからのブロック会議ではこれらの課題について話し合っていけたらと思いました。

（藤沢支部 木村 靖子）

### 【湘南西部】 <平塚・大磯・二宮>

2019年竣工のひらつか市民活動センターは、まだ初々しさの残る佇まいです。今日はそこで開かれる、第1回湘南西部ブロック会議にお誘いいただきました。合計9名の参加です。自己紹介からスタートした会議は、子供の年齢・生活、各地域の障害福祉の状況、その中で困っていること、解決のために尽力していることなど…更には会としての課題、今後の方針にも話がおよび、あっというまの2時間半でした。自身の子供の課題である通学支援についても、他地域の状況や解決の糸口を知ることができて勉強になりました。やはり当事者が声を出して訴えていくことが大切だと実感しました。ありがとうございました。



（大磯支部 浅野 玲子）



「育成かながわ」は、共同募金配分金により発行しています。

## 【県央1】 &lt;厚木・秦野・伊勢原・愛川・弘済学園・はだのいんくる&gt;

参加者は9名。あつぎ市民交流プラザで支部紹介、活動状況、最近の様子から大盛り上がりの2時間弱。コロナ禍で全ての支部が活動中止となりサービス利用出来ない重度障害者や、ウィルス感染を怖がる中軽度の障害者の状況報告が中心でした。その状況でも伊勢原・愛川では秋の行事を検討していて活動再開支部も増えていきそうでした。地域性・障害特性・グループホーム利用 or 在宅などで動き方はそれぞれではありますが、全ての支部で本人に寄り添ったサポートを模索中の状況でした。会員拡大については会員数維持又は減少の今、得策は無いものの周知活動、組織改革（労働に対しての給与支払い）などがあがり、入会するメリットだけではなく孤立させない組織である事も大切なのではないかと育成会の存在意味を共有しました。（はだのいんくる支部 土屋 郁英）



## 【県央2】 &lt;大和・海老名・座間・綾瀬・相模原&gt;



海老名総合福祉会館の第4会議室にて初めてのブロック会議なので、それぞれの市の紹介を兼ねてパンフレットや会報を持ち寄りました。コロナ禍の今、予定行事は中止も多く役員会などで集まるのも悩ましく、いまだ会費が徴収できていなかったり会報などの渡し方にも困る現状を報告し合い、さらに、会員数の減少や役員交代が進まない等、共通する課題についても話し合いました。簡単に答えの出る事ではありませんが、共感できる課題でそれぞれに頑張っているベテランの皆さんが心強く感じました。話題は災害時のお見舞い金や、相模原の「津久井やまゆり園」事件についてと広がり、2時間をオーバー。参加者7名でしたが、少人数のブロック会議は話が弾んでなかなか良かったです。（大和支部 加藤 みどり）

## 【県西】 &lt;小田原・南足柄・足柄上・箱根・真鶴&gt;

参加人数は計8名。議題の「会員を増やすため各支部で行っている事」では、勉強会・講演会・レクリエーション・広報誌で活動を載せ配布する等でしたが、会員が増えないのは放課後等デイがあるからでは？という話がありました。以前は、学校下校時・長期休みなど親子が一緒に過ごす時間も長く、長期休みにはレクリエーション（プール等）を行っていました。同じ障がい児者を持つ親として子供のために活動していることをこれからの次の世代に伝えようとしても受け取ってもらえない難しさ、さらに今活動している人たちが高齢化していることなど、もどかしさを感じました。（小田原支部 村松 いづみ）

<p>未来あんしんサポート</p> <p>NEW 2020年7月より第一フロンティア生命の一時払タイプの生命保険の取り扱いを開始しました。</p>	
<p>[知的障がい]や[自閉症]等の障がいのあるおさまのために 「親なきあと」をサポートするご提案です</p> <p>障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配…</p> <p>この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。</p> <p>残したお金をこの子が 使い切れない時のことも考えておきたい。</p>	<p><b>未来あんしんサポート</b><sup>®</sup></p> <p>お問合せや資料のご請求はこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル ☎0120-580-503 通話料無料 受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00</p>
<p>「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします</p> <p>『未来あんしんサポート』は、(株)ジェイアイシーが ご提案する生命保険と生命保険信託をあわせた サービスの総称です。</p> <p>●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●(株)ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、(株)ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2020年7月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。</p>	<p>[生命保険募集代理店・信託契約代理店]</p> <p><b>JIC 株式会社ジェイアイシー</b> 本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp</p> <p>[所属信託会社] <b>みずほ信託銀行株式会社</b></p> <p>[生命保険引受保険会社] <b>第一フロンティア生命保険株式会社</b> または <b>FWD富士生命保険株式会社</b></p> <p>登録No.FWD-C3476-2006</p>

## 新型コロナウイルスにおけるアンケート結果

新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言が発令され、これまで経験のない自粛生活を余儀なくされました。発令以前より突然学校の休校が決定、教育現場は混乱し、地方自治体や学校ごとに対処が様々でした。多くの障がい児者やその家族にとって当たり前の日常が奪われたことで精神的に疲弊し、感染への不安は消えず今後どう向き合っていくべきか考える必要がありました。そこで緊急事態宣言解除後の6月に会員に対し、①学校や福祉事業所の対応②本人や家族の生活状況や困り事をアンケート調査しました。短い期間ではありましたが118件もの回答をいただきました。回答の半数は在宅で生活介護事業所に通所する方でした。「本人がこの状況をよく理解できない」、「事業所によって取り組みが違う」、「いつもと違う状況に障がいの特性から本人が混乱し家族が疲弊している」との回答が目立ちました。また入所やグループホームで「本人と会えず寂しい思いをした」や「本人の混乱を心配」という回答が多く、職員への感謝の言葉がある中で施設の対応も様々であることがわかりました。このアンケート結果を反映させて行政への要望や県民への理解・啓発につなげていく必要があります。残念ながら会全体の高齢化に伴い、幼児期や学齢期のお子さんを持つ会員の声が少ないことが今の私たちの活動をする上での課題です。このような時だからこそ今まで以上に本人の声や行動に寄り添い思いを汲み取る必要があります。尚、ここでは主な回答と見解を掲載しています。集計結果の詳細についてはホームページの会員のページを合わせてご覧ください。

### \*アンケート結果より見えてきた課題\*

#### ○本人や家族が感染したらどうなるか県の対応がわからず不安

県はホームページに7/10付で「介護者がコロナ入院で不在となった在宅の高齢者・障がい者を受け入れる専用入所施設の設置について」を掲載しています。今後ホームページ以外でも市町村の対策も含めた広報掲載や学校、事業所などから家庭へ周知していく仕組みが必要です。

#### ○特別支援学校高等部に複数の公共交通機関を利用し自力通学しているが分散登校により指定の時間帯内に登校することが難しかった

学校ごとに決めており県の教育委員会は把握していません。学校が生徒の通学事情と公共交通機関の運行状況を加味した上で対応するべきです。

知的障がい児者・自閉症児者の  
生サポは **家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援  
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容		
病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術 / 各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

**AIG損保の普通傷害保険**  
**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー**  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
https://www.aig.co.jp/sonpo  
**東京第二プロチャネル営業部**  
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階  
TEL: 03-6894-9110  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会**  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2  
神奈川県社会福祉会館内  
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426  
http://yurisapo.jp/index\_qhm.php

2019年11月現在の内容です。(D-004329 2021-03)

※毎月1日付で加入できます。2020年度もよろしくお願いたします。

## ○自宅以外に避難できる場所がほしかった

家族も会社や学校がリモートで自宅にいるため本人も家族も疲弊してしまった  
マスクができず人目が気になり一緒に買い物も行けず置いても行けなかった  
生活リズムが乱れたり、ストレスによる自傷・他傷・パニックになり薬を使用し落ち着かせた

特別支援学校が開放されていて卒業生だったが利用させてもらいとても助かったとの喜びの声がありました。県は特別支援学校の開放を積極的に行うよう呼び掛けましたが学校ごとに対応が様々でした。自粛中でも自宅にいることが難しくなった時の避難場所として開放していく必要があります。また、休校に伴い国が放課後等デイサービス事業所の利用日数を増やし対応したため、事業所側が混乱しました。特別支援学校の先生が事業所に出向き協力していた自治体もあり今後の対応に課題があります。

## ○家庭の送迎を求められたができないため休ませた

家庭事情の考慮や話し合う機会もなく在宅の利用者だけが休みになってしまった

通常とかわらない取り組みをし、本人の安定に努めたり、電車利用者には車で通所できるよう手配したところもありました。利用者にコロナ対策についてわかりやすい説明やプリントを配布したところもありました。時間差での食堂利用・昼食や着替えの場所を離す・時間帯や隔日など日数を減らしての利用対応してくれるところもありました。反面、曜日により送迎時間が変わることで混乱し不安定になったという回答もあり本人に合った対応が求められます。

## ○入所・グループホームの施設から状況説明がなく、連絡もできないため本人の様子もわからない帰宅できないことを本人が理解できないことや自分の体調を伝えられないため心配

手洗い消毒で手つなぎ散歩やドライブでのお出かけ、信頼できるお店での外食など通常に近い状態を維持し本人の安定を心がけたところがありました。  
テレビ電話の利用やグーグルフォトの共有アルバムに利用者の写真をアップしたところもありましたがその反面、通話は本人が混乱し不安定になるという回答もあり本人に合った対応が求められます。

## ○ひとり暮らしや日中在宅でどこにも所属していないと家族以外に気にかけてもらえず支援体制がなかった。役所に相談していてもコロナを理由に急ぐ様子がなく気持ちを理解してもらえなかった

本人だけでなく家族も学校を卒業すると新たな支援体制を構築する必要があります。特に何らかの福祉事業所を利用していない方にとっては情報が得られず、支援が届きにくいのが現状です。行政は情報発信に努め、相談支援事業所など本人と関わる事業所と一緒に支援をコーディネートできる仕組みを早急に作成する必要があります。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

## 手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とそこご家族をワイドにお守りする保険です

**特長1**



**代理手続き  
代理告知が  
可能**

障がいのある方向けプラン

**特長2**



**告知対象  
疾患の緩和**

障がいのある方向けプラン

**特長3**



**成年後見  
費用を補償**

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「ノンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。  
「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は  
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に  
資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]  
**ぜんち共済株式会社**  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5  
九段北325ビル4階  
**0120-322-150**  
TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>  
MAIL: [gan@z-kyosai.com](mailto:gan@z-kyosai.com)  
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

**東京海上日動火災保険株式会社**  
公務第一 東京公務課  
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4  
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

2020年6月作成  
20-TC01440

# みんなの願いを伝える



国への要望→全国手をつなぐ育成会連合会を通じ、厚生労働省、文部科学省へ。

県への要望→福祉こども未来局福祉部、教育委員会へ。

私たちの願いを届けるために、県議会議員団に要望内容をより具体的に伝えました。今回ヒアリング実施を行わない、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団と県政会神奈川県議団にも要望書を提出しました。

- 7/14 日本共産党神奈川県議員団  
自由民主党神奈川県議会議員団
- 7/27 立憲民主党・民権クラブ神奈川県議会議員団
- 7/28 公明党神奈川県議団

様々な場面で会うことが自粛され、暑い中にも関わらず議員の皆さんと直接お話しできる貴重な時間をいただけたことに感謝したいと思います。植松会長からは反町への社会福祉会館移転に際し、賃料等の減免に関して各議員団の皆様にご多大なご尽力をいただきましたことへのお礼を述べさせていただきました。これまで父母連の一団体としての予算要望と一緒に提出していましたが今回は育成会独自での要望活動を行いました。短い時間ではありましたが要望の3項目について説明をしました。(右段参照)

6月コロナウイルス感染拡大により自粛生活を送った会員へアンケートを実施し(3, 4ページに関連記事)、その中から見えてきた課題を要望にしました。ヒアリングではアンケートに関心を持ち、障がいの特性による困り感についても大変理解を示してくださいました。またインクルーシブ校の卒業生についての検証が出来ていないことや特別支援学校の分散登校での対応についても回答いただきました。津久井やまゆり園の検証委員会の中間報告についてなど多くの議員団と充実した意見交換ができ、皆さんの姿勢に誠意を感じました。今後は会報をお届けしたり、会の活動を更に知っていただく機会を作っていきます。これからも一人でも多くの議員の皆さんとお会いして意見交換を継続していきたいと思えます。(鈴木 亜紀子)

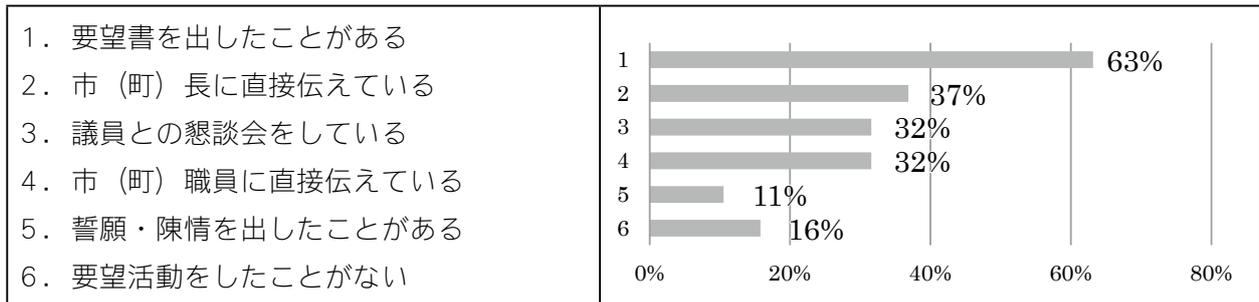
## 2020年度の私たちの要望

- 知的障害児者への理解を求める啓発活動をさらに広げ、障害者の新型コロナ対策への指針作成を要望します。それぞれの市町村の対応、福祉事業所、学校等を検証し、障害児者とその家族に寄り添った指針の作成を求めます。
- インクルーシブ教育に対する教育委員会の見解の改善を要望します。川崎市の重度障害のお子さんが地域の普通学級に通うことを求める裁判で神奈川県教育委員会が川崎市と同様の見解を示したことで敗訴しました。現在ご家族は世田谷区へ引っ越しお子さんは普通学級へ通っています。地域で育ち学ぶことを許されない神奈川県に対しインクルーシブ教育の見解の改善を求めます。
- 新型コロナウイルス感染症への学校の臨時休校に対しての要望について
  - (1) 学校の開設や自主通学の受け入れ  
自宅、学童保育、放課後デイサービス、学校と居場所を分散させることで感染リスクの低減が期待されません。  
一律の対応をすることなく必要な場合には自主通学を認めるなど特段の配慮をお願いします。
  - (2) 特別支援教育に携わる教員の応援  
放課後デイサービス等への特別支援学校、学級の教員等の派遣について特段の配慮をお願いします。
  - (3) 学校施設の開放  
休業措置が取られた場合に学校の教室等の利用について柔軟な対応と、特別支援学校、学級への積極的な周知徹底をお願いします。

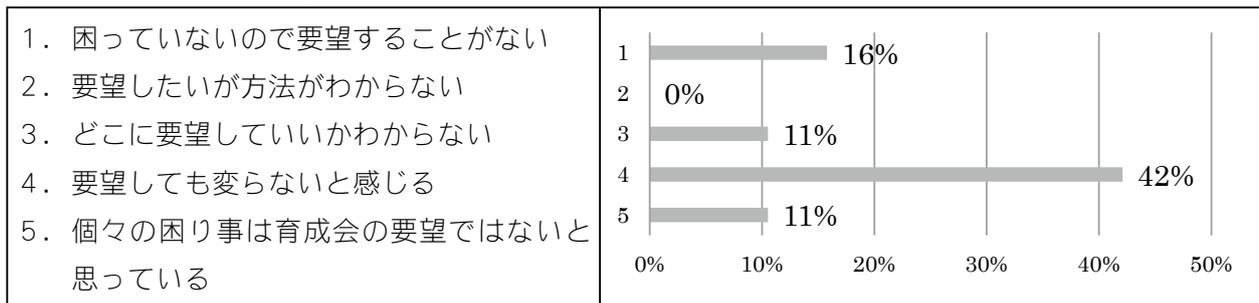
## 要望書、出していますか？ ～各支部における要望活動について～

障がい児者を取り巻く環境が一昔前と比べるとかなり改善されてきているのは、私たち育成会をはじめとした当事者団体が行政や関係機関等へ彼らの声を代弁した「要望書」を出し続けてきたからです。県育成会においては5ページでも紹介したとおり、毎年各方面へ要望書を提出しています。今回、下部組織である各支部の取り組みがどうなっているのかを知るために7月にアンケートをおこないました。主な結果は以下のとおりで、いくつか課題が見えてきました。(18支部からの回答)

### ① 支部でこれまで取り組んできた要望活動について (複数回答)



### ② これまでの要望活動に対する考え (複数回答)



グラフを見ると、要望書を出したことがある支部は半数余りとどまり、提出先や方法は様々なようです。また要望活動をして「変わらないと感じる」支部が半数近くあることが分かりました。こういった状況の中、7月3日(金)の理事会内で開催された又村あおい氏による「要望書を出す、ということ」の研修会では、ほとんどの人が要望書を出し続ける必要性和説得力のある効果的な要望書の作成方法を知ることが出来、奮起させられたようでした。今後、各支部での要望書に対する取り組みが格段と変化することを期待したいところです。紙面ではお伝えできなかった研修の中身については、又村氏が各支部に出向いて説明して下さるとのことなので、ご希望があればお問い合わせ下さい。 問い合わせ先→(一社)全国手をつなぐ育成会連合会 又村あおい氏 まで

### 編集後記



ブロック会議での1コマ。「〇〇さん、久しぶり～」と懐かしがるお二人、聞けばお子さん同士が同じ養護学校に通っていた時のお仲間だとか。この地域で集まることにより嬉しい再会ができたようです。次回の会議は12月4日(金)に開催予定、会員ならどなたでも参加できますのでご希望があれば所属先の支部にお問い合わせください。また、今後に向けてオンラインでの会議や研修会を準備中です。画面を通じて遠くにお住まいの会員と新しい出会いがあるかもしれませんね。ホームページも本格稼働を始めました。コロナ禍でも皆さんとの繋がりを大切にしながら、活気ある活動を続けていきたいと思っております。(広報委員 中川 孝子)